

議題(1)資料①

(仮称)佐渡伝統文化振興財団が当初(当面)取り組む事業(案)

NO	事業名	目的	内容	摘要(事業の規模、回数など)
1	伝統文化活用事業	伝統文化の継承・活用	伝統建築物の修理・保全	①伝統建築物の継承と活用 (景観維持・観光資源の確保) ・杜寺泊、葉膳、体験(工芸、写経、座禅、梵鐘撞き)、パワースポット開拓、インスタ(仮装)舞台設定 ②伝統建築修復技術の維持と向上 (国内への職人派遣) ・国内の技術者不在エリアでの修復業務受託 (伝統建築部材の販売、輸出) ・国内外への佐渡産木材による伝統建築部材の提供
2	伝統文化活用(収益)事業	伝統文化の継承・活用	伝統文化専門学校と連携し、伝統工芸部門を運営する。	伝統文化専門学校の卒業生を雇用し、全国の文化財の出張修繕を受託する。佐渡の文化財修繕を専門学校生の実習に使用し、育成とともに文化財保全を図る。
3	修繕と活用(収益※部分的)	伝統文化の継承・活用	・1年に1ヶ所・文化財級資源(寺社仏閣)の修繕×島内技術者・材・お金の地産地消、循環の仕組みづくり(例:専門学生(宮大工)、佐渡茅葺き×カモケン) ・文化財級資源(古民家、歴史的建造物など)×地域ビジネス(宿、レストラン、シェアオフィスなど)の情報収集・提供、事例発信、許可・認可支援、相談窓口など(佐渡ヘリティジャーニー、伝泊、先進地との連携)	
4	伝統文化振興事業	伝統文化の継承	放課後体験教室の活用や各学校における地域学習授業へ講師指導の派遣、給食時間を利用した音楽CD等の提供	各小学校に講師を派遣する。文化祭の発表などの講師として参加し、伝統文化にチャレンジしてもらう。中学生においては、文化部などを利用し、月2回程度の講師派遣する。ただ、これには問題があり、学校の合併が難しいことから、児童数も少なくなり、子供などができない限りの学校と部活動の合併などが増え、スポーツと文化部ともよいことだけ思ふ。近隣の学校と部活動も増える。毎日かかる費用が、佐渡おけさのよううに、小さい頃から聞くことにより親しみを感じ、自然に覚えるのではないかと思います。
5	伝統文化活用事業	伝統文化の継承	佐渡の食文化の継承	佐渡の食文化を継承するため、イベントなどで旬の食材を使用したさざなごはんを提供する。(市からの受託事業) (参加費の徴収)

(仮称)佐渡伝統文化振興財団が当初(当面)取り組む事業（案）

6 伝統文化振興事業 伝承	伝統文化の継 承	伝統文化体験のコーディ ネート	市が受け入れた大学生を地域のまつりに参加させるなど、都市と地域の 交流をコーディネートする。（市や観光DMOからの受託事業）
7 伝統文化振興事業 伝承	伝統文化の継承	民謡女子ら若手講師における 民謡指導に用いた民謡指導 講師派遣	在学数の多い小中学校を中心に巡回し、月1回程度実施する。姉妹 提携都市などにも積極的に出前授業を行う。
8 伝統文化活用（収 益）事業	伝統文化の 活用	羽茂高校郷土芸能部のOB・ OGを中心とした創作舞踊 集団を設立・運営する。	伝統芸能をPRするための創作芸能集団を結成し全国各地、海外公 演も視野にいベントへ派遣する。グッズ等の販売も行うとともに、 グッズや公演招待を返礼としたクラウドファンディングで活動費用 を捻出する。
9 伝統文化活用（収 益）事業	伝統文化の 活用	佐渡の伝統文化を全国に 発信するオンラインライ ショップの開設	新設する地域商社と連携し、佐渡における価値ある伝統文化を発掘 するとともに、時には売るための工夫をアレンジした商品を開発 し、オンラインショッピングで販売する。地域に根付く伝統文化を継承 する人の所得向上にもつながる。
10 伝統文化活用（収 益）事業	伝統文化の 活用	文化財団が保管管理する 文化芸品や工芸品の貸付事 業	保管している美術品、絵画、工芸品などを民間のギャラリーやイベ ントで展示できるようレンタルし、観覧できる機会を増やす。
11 伝統文化活用（収 益）事業	伝統文化の 活用	文化財団が保管管理する 写真や映像の民間利用	文化財団が保管している昔の写真や映像の民間利用について使用料 を徴収する。
12 伝統文化活用事業 伝承	伝統文化の 活用	若手民謡人らでキヤラバ ン隊を通じた佐渡のPR	日本各地のロククフェスやアートフェスなど、若者が集まるイベン トへ出場する。メディアミックスによる展開。
13 伝統文化活用（収 益）事業	伝統文化の 活用	コラボ商品の開発や、イ ベントへの参加	例えば、陶器においては、佐渡の陶器を利用し実感新 しい佐渡の酒の陣などに、佐渡の陶器の良さを作り、に佐 渡の焼物の知名度を上げる。また、酒蔵とのコラボ商品と一 緒に佐渡の土産を販売する。単体ではなく、色々な商品と伝統文化のコ ラボデザインをつくり、お菓子の形、パッケージや、ダンボール、包装 紙、袋などに利用してもらう。

(仮称)佐渡伝統文化振興財団が当初(当面)取り組む事業(案)

1 4 伝統文化活用(収益)事業	伝統文化の活用	各保育園や学校の教材を開発したコラボ商品の開発	鬼太鼓や、佐渡おけさなど、親しみのわくかわいいデザインで、学校で言葉で利用して、各学校での購入はお絵かきでもう。一どできまでもう。親ももれるようにする。親ももれるようにする。親ももれるようにする。親ももれるようにする。親ももれるようにする。また、お土産としてもう。
1 5 伝統文化活用事業	伝統文化の活用	民謡などのイベントの開催	発表する場所が欲しい人、発表する人が欲しい施設、民謡鬼太鼓を見たい人をつないだ。イベント開催は、日程が限られてしまって、観光時に飲食まで考えると難しい。でも、見たい人が見れる場所がどこかであります。またお金を支払った状況がある。店や施設などでも見せられる場所がある。あれば、ボランティアでは人の確保は難しい。でも、見たい人が見れる場所がある。またお金を支払った状況がある。施設をしたい人もあるのかな? どうでもいいとオブションとして、のショートがあります。団体は、事前予約としないで、交通費や謝礼などが確保できる。
1 6 伝統文化活用事業	伝統文化の活用	佐渡に伝わる伝統芸能の公演・発表	鬼太鼓・祭礼神事・民謡・人形芝居等の発表会を定期的に開催する。地元市民ほか観光客の観覧機会としても位置づけた事業。各団体に発表の機会を提供することにより、伝承につなげることとする。(観覧料徴収)
1 7 伝統芸能データベース作成	伝統文化の活用	佐渡に伝わる伝統芸能のデータベースを作成する。	市民・観光客が伝統文化の内容や公開日(時間等)等の情報を得るために基礎データとし、財団HP等で公開する。
1 8 「外から連れてくる地域」企画・立案、ヨーティネット(収益)	伝統文化の活用	・祭り体験ツアーや本物の体験、祭りにきて欲しい・人手が足りない地域(ex. EC、観光圏、大学生、女子祭り) ・有形無形文化財×新しさの価値(ex. ダイニングアウト、能舞台活用の例など) ・有形無形の文化財の観光資源としての活用の促進 ・島外からの来島客に、有形無形の文化財の鑑賞機会を提供する演者、ガイドの養成	

(仮称)佐渡伝統文化振興財団が当初(当面)取の組む事業(案)

			【竹の例】 竹細工は大まかに工芸品と生活用品に分類されるが、生産者はいざれも後継者不足により技術の継承が危ぶまれている。一方、都会では富裕層の中で自然志向によってその受注に追いついて注目されているものの、生産者不足によってその現状を聞く。
1 9 伝統技能継承事業	伝統技能の活用	竹、桶、橐、かやぶきなどの加工技術の研修の場の設置	将来的にではあるが、全国各地区の民謡を集めた民謡トリエンナーレを開催
2 0 伝統文化活性化事業	伝統文化の活性化	伝統芸能やそれに類する文化的コンテンツを全て網羅し、観覧・閲覧できる施設を建設	3年に一度の大規模な民謡文化祭。土着音楽の魅力を国内外問わずアピールするイベント。
2 1 伝統文化活性化(収益)事業	伝統文化の活性化	無形文化財や伝統建築物(特に修理時)のデジタルによる記録	観光客が訪れた際に必ず佐渡の伝統芸能を味わえる施設は収益の核として重要。各伝統芸能や各伝統工芸に特化した造りの施設であり、且つ、各史料の管理や各芸能団体が気軽に練習できる環境および景観を整備する。『伝統文化享受権』の宣言都市を目指す。
2 2 伝統文化保存事業	伝統文化のデータ化		①AIやロボットによる再現や伝統建築物製作の革新に対応 ②正確な文化(遺産)としての記録 ③広報素材
2 3 調査・研究、発信・サポーターエリア集	伝統文化のデータ化		・伝統技術、芸能の調査、映像収録 ・伝統料理の調査、調理研究、伝承 ・神社、仏閣調査、宗教、冠婚葬祭の調査、研究 ・佐渡島内の技術を持った人、伝統芸能を継承している人を発掘 ・島民に対する有形無形の文化財に対する啓蒙活動
2 4 伝統文化振興	後継者育成	地域や団体の取り組みへの支援、助成	学校教育との連携も
2 5 伝統文化振興	後継者育成	親子を対象にした民謡指導	教育事務所と連携し、民謡の指導をする。

(仮称)佐渡伝統文化振興財団が当初(当面)取る組む事業(案)

人材育成…誇りと自信醸成（佐渡に生まれ育つて良かっただ）、課題解決・次世代リーダーやディレクターの育成の仕組みづくり	「伝統芸能」 ・小学生…島内の伝統芸能の交流 ・中学生…国内外での佐渡伝統芸能展開支援（イベント出演、他地域芸能との交流） ・高校生…海外での佐渡伝統芸能展開支援（グローバル、グローカル人材育成） ・大学生…島内伝統文化（有形・無形問わず）の調査研究支援、提案募集 ・大人（若手）…島内芸能団体交流→島内・国内外での地域を越えた協働・支援・発信。 他集落から応援してもらうシステムづくり。	後継者育成	〔伝統技術〕 ・技術、芸能を披露してもらう場、ワークショップ（学校へ出向くなども含め）を開催。 若い人たちへ伝える、受け継ぐ。
27 伝統文化活用	地域振興 佐渡 P R	祭り、イベント、公演、 展示、キャラバン派遣… etc	“佐渡の伝統芸能を楽しむツアーア” の観光商品の開発も考慮
28 文化財団基盤整備事業	体制づくり	巨大組織を統べる強力な 組織体制を確立	島内全ての文化的コンテンツを同じ土俵に上がらせるべく、あらゆる利害調整と交渉を一手に引き受ける組織の編成を目指す。
29 憲口・コーディネーター機能（収益※部分的）	体制づくり	芸能団体出演やWS、地域との交流などワンストップ窓口、コーディネート（島内外問わず） ・島内芸能団体×島内伝統技術者のマッチング、問合せ窓口（ex. 面、わらじ、衣装、バチなど） ・手が足りない地域×祭り人材バンク（仮称）マッチング、派遣（ex. 実際に善知鳥神社の神輿の手が足りないと鼓童に相談あり…） ・保存維持サポート一の募集	
30 横のゆるやかなかネットワーク連携	体制づくり	・観光、地域、産業、教育（学校、社会）、福祉 ・産官学、民間団体	
31 基金、助成（将来的、公益財団化の後か？） [収益]	体制づくり	・ふるさと納税、休眠預金、遺贈などの受け皿となる財團へ ・担い手育成、Uターン、次世代継承、プロジェクトへの助成、基金	

議題(1)資料②

平成29年11月8日 現在

伝統芸能、伝統文化についての調査

番号	種類	内容	練習期間	練習日	練習時間	練習会場	対象学年	参加人数	指導者数	発表の機会					付記
										1	2	3	4	5	
1	民謡	佐渡おけさ	10月	3回／月	3時間	学校内	全校	15人	3人	運動会					前浜小
2	はやし	前浜ばやし	9～11月	10回	10時間	学校内	全校	15人	3人	運動会	文化祭	佐渡学発表会			前浜小
3	歌舞伎	片野尾歌舞伎	12～2月	1回／週	10時間	学校内	3・4年生	5人	1人	校内					前浜小
4	民謡	佐渡おけさ	5月	2回／月	2校時	子供内 グラウン ド	全校	87人	4人	運動会					河崎小
5	芸能	鬼太鼓	6月	1回	5校時	教室	3年	20人	1人	参観日					両津小
6	民謡	佐渡おけさ	11月	1回	5校時	教室	3年	20人	1人	参観日					両津小
7	民謡	佐渡おけさ、両津甚句	通年	月2回	放課後	学校内	2～6年	16人	4人	運動会	文化祭				両津小
8	文化	茶道クラブ	4～10月	10回／年	6校時	学校内	4～6年	6人	2人						両津小
9	文化	華道クラブ	4～10月	10回／年	6校時	学校内	4～6年	6人	1人						両津小
10	文化	百人一首クラブ	4～10月	10回／年	6校時	学校内	4～6年	6人	1人						両津小
11	伝統工芸	陶芸、製き織り	5月9日	5月9日	2時間	相川技能 伝承館	5年生	28人	3人	文化祭 作品展					加茂小
12	郷土料理	*誇義 ・おにまん、い こねり ・じーく	9～11月	1回／月	2時間	学校内	5年生	28人	6人						加茂小
13	鬼太鼓か 民話	鬼太鼓か民話	11月～	2回／週	8時間	学校内	3年生	35人	2～4人						加茂小
14	民謡	佐渡おけさ	9月	5回／月	授業1回、 昼休み4回	内海府小中 学校体育館	1～6年	11人	1人	運動会					地元の民謡団体 に講師を依頼し、 小中合同で練習 会を実施した。 内海府小学校
15	民謡	佐渡おけさ	5月	3回	5校時	学校内	6年	21人	2人	運動会					相川小

16	民謡	相川音頭	4~6月	4回	3校時	学校内	3~4年	43人	3人	宵の舞						相川小
17	民謡	佐渡おけさ	7月	3回	3校時	学校内	3年	27人	2人	鉱山祭り						相川小
18	伝統芸能	やわらぎ節	7月~10月	5回	4校時	学校内	4年	16人	1人	文化祭						相川小
19	民謡	佐渡おけさ	9月~10月	13回	2校時	学校内	5年	25人	2人	民謡の祝文化祭						相川小
20	民謡	七浦甚句	通年	2回/月	6校時	学校内	全校の希望者	30人	4人	運動会	夏祭り	文化祭	佐渡に学ぶ才能・学習発表会			七浦小
21	民謡	佐渡おけさ	5月	2回/年	2校時	学校内	1~6年	47人	1人	運動会						金泉小
22	民謡	佐渡おけさ	5月	3回/月	3校時	学校内	1~6年	30人	2人	運動会						高千小
23	民謡	佐渡おけさ	9~10月	3回/週	総合	学校内	3年	57人	3人	文化祭						金井
24	鬼太鼓	鬼太鼓	6月	2回/週	総合	学校内	3年	57人	5人	文化祭						金井
25	民謡	佐渡おけさ	5月11日	1回	2校時	体育館	全校児童	69人	2人	運動会						行谷小
26	民謡	佐渡おけさ	5月	2回		学校内	1~6年	227人		運動会						真野
27	民謡	佐渡おけさ	5月	2回		学校内	6年	39人		運動会						真野
28	民謡	豊田音頭	9~10月	3回/週	5または6校時	学校内	5年	42人	3人(2時間)	学習発表会						真野
29	能	能	5月	1回	5・6校時	学校内	3年	41人	2人	なし						真野
30	文弥人形	6月	1回	5・6校時	学校内	3年	41人	5人	なし						真野	
31	やせごま	7月	1回	5・6校時	学校内	3年	41人	1人	なし						真野	
32	民謡	佐渡おけさ	9~10月	3回/週	5・6校時	学校内	3年	41人	6人	学習発表会						真野
33	民謡	民話	10月	1回	5・6校時	学校内	3年	41人	1人	学習発表会						真野
34		太鼓体験	11月	1回	1~4校時	太鼓体験 交流館	4年	38人	1人	なし						真野
35	民謡	佐渡おけさ、西津基句、小木おけさ	通年	1回/週 (土曜日)	4時~5時半	南佐渡離島開発総合センター	2~6年	19人	3人	白山丸祭り前夜祭	小木港祭り	つくしふれあいまつり	小木芸能祭	地域の指導者による課外活動	小木小	

第2回設立準備会資料(その2)

36	民謡 佐渡おけさ	5月	1回	1校時	学校内	全校	133人	4人	運動会				羽茂小
37	民謡 佐渡おけさ	5月	1回／全体	2校時	学校内	全校	68人	1人	運動会				赤泊小
38	民謡 赤泊小唄	9～10月	2回／週	4・6校時	学校内	3年	12人	2人	文化祭				赤泊小
39	鬼太鼓 浅生鬼太鼓	9～10月	1回／週	4・6校時	学校内	6年	13人	1人	文化祭				赤泊小
40	獅子 徳和の獅子	12月	2回／全体	4校時	学校内	6年	13人	1人	もちつき大会				赤泊小
41													
42													
43													
28													

伝統芸能、伝統文化についての調査

番号	種類	内容	練習期間	練習日	練習時間	練習会場	対象学年	参加人数	指導者数	発表の機会					付記
										1	2	3	4	5	
1	民謡	佐渡おけさ 相川音頭	5~7月	1回／週	5・6校時	学校内	1~3年	84人	4人	老人介護施設訪問	鉢山祭	文化祭			相川中
1	民謡	佐渡おけさ	8~11月	2回／週	5・6校時	学校内	1年	28人	7人	地域文化体験活動発表会(地域住民・保護者・小学生6年生を招いての校内発表会です)					金井中
2	民話	安養寺の山猫	8~11月	2回／週	5・6校時	学校内	1年	15人	2人	地域文化体験活動発表会					金井中
3	日本舞踊	松竹梅	8~11月	2回／週	5・6校時	学校内	1年	3人	2人	地域文化体験活動発表会					金井中
4	能	猩猩・羽衣・経政	8~11月	2回／週	5・6校時	学校内	1年	5人	2人	地域文化体験活動発表会					金井中
2	民謡	佐渡おけさ	6月	1回	1校時	学校内	1~3年	6人	3人	運動会					松ヶ崎中
3	民謡	佐渡おけさ	12月	1回	1校時	学校内	1~3年	6人	1人	運動会					松ヶ崎中
4	民謡	佐渡おけさ	6~10月	1回／週	5・6校時	学校内	1年	29人	4人	文化祭					南佐渡中
5		文弥人形	6~10月	1回／週	5・6校時	学校内	1年	8人	2人	文化祭					南佐渡中
6															
7															
8															
9															
5															